

# 真庭SDGsパートナー宣言書

企業・団体名 十字屋グループ  
 代表者名 牧 一穂

次のとおり真庭市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します。

## 1 関係するSDGs目標（ゴール）（○を入れてください。）複数選択可

|                                     |   |                                |   |                                      |   |                                |   |
|-------------------------------------|---|--------------------------------|---|--------------------------------------|---|--------------------------------|---|
| (①貧困)<br><br>1 貧困をなくそう              |   | (②飢餓)<br><br>2 飢餓をゼロに          | ○ | (③保健)<br><br>3 すべての人に健康と福祉を          | ○ | (④教育)<br><br>4 質の高い教育をみんなに     | ○ |
| (⑤ジェンダー)<br><br>5 ジェンダー平等を實現しよう     |   | (⑥水・衛生)<br><br>6 安全な水とトイレを世界中に | ○ | (⑦エネルギー)<br><br>7 安全で持続可能なエネルギーをみんなに | ○ | (⑧成長・雇用)<br><br>8 働きがいも経済成長も   | ○ |
| (⑨イノベーション)<br><br>9 産業と技術革新の基盤をつくろう | ○ | (⑩不平等)<br><br>10 人や国の不平等をなくそう  |   | (⑪都市)<br><br>11 住み続けられるまちづくりを        | ○ | (⑫生産・消費)<br><br>12 つくる責任 つかう責任 | ○ |
| (⑬気候変動)<br><br>13 気候変動に具体的な対策を      |   | (⑭海洋資源)<br><br>14 海の豊かさを守ろう    | ○ | (⑮陸上資源)<br><br>15 陸の豊かさも守ろう          | ○ | (⑯平和)<br><br>16 平和と公正をすべての人に   |   |
| (⑰実施手段)<br><br>17 パートナーシップで目標を達成しよう | ○ |                                |   |                                      |   |                                |   |

## 2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

十字屋グループでは「共生」の理念を基に将来を見据え、人口減少などの様々な地域課題の解決のために、そして先進的で持続可能な地方モデルの創造を目指し、真庭市及び賛同企業や他団体と協働した情報の発信や地域づくりを行います。

環境衛生事業では、一般廃棄物の資源化による持続可能なバイオマスモデルとして循環型社会作りへの取り組みを推進します。また、環境保全はもとより資源循環を基軸とした農業の活性化をはかるべく、バイオ液肥を利用して育てた青果物の生産や販売、加工品や地域特産物の販売拡大など商業の発展にも寄与し、健康を守る食の提供や地域のつながりを大切に観光の発展につながる取り組みを行います。

生活に密着した部分では、地域のよろず屋として何でもし隊（便利業）や JSHOP、J-BUILD の働きにより土木、建築、電気、水など、大小問わず生活の問題解消に取り組めます。

エネルギーの面においては、自然エネルギーの有効活用に努め、太陽光発電やバイオマス発電、また膜ろ過技術を活かした地下水や雨水などの水処理事業を推進します。

その他にも、真庭市との災害応援協定による災害に強いまちづくり、子どもの頃から環境について考える機会となる環境絵画コンクールの開催、十字屋教育財団においても文化、教育面の一助となり、さらには福祉の面や NPO 団体への支援も積極的に行うことで持続的な多世代共生社会の実現、並びに SDGs 目標の達成に向け貢献します。

企業・団体の事業等において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するか、1で○を入れたSDGs目標（ゴール）の達成にどのように貢献するかなどを記載してください。